

下肢虚血疾患登録（疾患レジストリ）による多施設共同研究システムの構築

・はじめに

我が国の動脈硬化性疾患（閉塞性動脈硬化症、虚血性心疾患、脳血管疾患など）に起因する死亡の総数は悪性新生物について第2位であり、その対策は国民福祉の向上を図るうえで急務です。生活習慣の変化により、動脈硬化性疾患は増加しており、喫煙などの生活習慣の改善や高脂血症や糖尿病、高血圧の正常化への対応を行うため、早期発見による適切な治療が重要であると考えます。そかしながら、早期発見・早期治療が必要とされる下肢虚血疾患全体のレジストリ構築はなされておらず、進行疾患であり、両下肢の外科的手術という複雑なデータに対応するためには、リアルタイムに更新できる使いやすいシステムの構築が望まれています。

今回、私たちは、下肢慢性動脈閉塞症(peripheral arterial disease: PAD)に関する症例登録データベースにより、臨床情報を共有・解析することでPADの症状・治療を体系的に把握し良質な治療を実現することで、統計学的に解析し、新たな治療法の可能性を探ります。

・対象

名古屋大学医学部附属病院血管外科において2009年1月1日から2015年3月31日までに下肢慢性動脈閉塞症等の末梢血管疾患の診断で外来・入院された約300名を対象に致します。また、2015年4月1日からも引き続き新規の対象患者さんを登録する予定にしています。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

当科で入院あるいは外来で下肢慢性動脈閉塞症の診断を受け治療された患者さんに対し、治療薬、症状、検査結果、手術名を調べます。このデータを基に、術後遠隔成績が確認でき、集積された治療のデータ解析で合併症発生率や死亡率などが明らかになり医療水準を評価できます。

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、当レジストリデータベースにおいては個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・研究期間

研究を行う期間は2015年4月13日より2021年3月31日まで

・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は下肢慢性動脈閉塞症等の末梢血管疾患の発症機序の解明及び新しい治療法の発見の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・研究機関

名古屋大学大学院医学系研究科血管外科学分野
教授 古森公浩（責任者）

名古屋大学大学院血管外科・講師・坂野比呂志

名古屋大学大学院血管外科・病院講師・杉本昌之

連絡先(疾患レジストリ事務局・九州大学内)：

〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出3-1-1 コラボⅡ 601

Tel：092-642-6310

担当：田中理子